

慣用句 かんようく

()年 ()組 ()番 氏名 ()

1 ちかさんのクラスでは、先日行われた『六年生を送る会』のことを題材にして、グループごとに慣用句を使って話しています。

グループの中で出された意見の中で慣用句の使い方としてまちがった使い方をしている人を、次から一つ選んで、その名前を書きましょう。



(はるこ) 私たちの「感謝かんしゃのメッセージ」、きんちょうしたけど、心をこめて言えたから、むねをなでおろしたよ。



(なつき) たて割り班の班長さんからの「送る言葉」に感動して、なきそうになったから、ぼくはなみだをのんで、見つめていたよ。



(あきお) 六年生とけんかもしたけど、そんなことはもうすっかり水に流して、いい思い出になっているよ。



(ふゆみ) 六年生がお別れの言葉を言う時は、体育館が水を打ったようだったね。あの時は、みんなの心が一つになっていたと思うわ。

2 ちかさんは、目を使った慣用句で文を作っています。使い方のあっている慣用句はどれですか。番号を書きましょう。

1. 妹はケーキやクッキーなど、あまいものに目がないからすぐに食べるよ。

2. 近所の肉屋さんは人気で、週末になると目がないほどのいそがしさだ。

3. 兄は、どんな難むずかしいしつ問にも、目がないようなすばやはやい速さで答える。

4. この絵が本物かどうか、絵に目がない祖父そふにかん定ていをたのむことにした。

()年 ()組 ()番 氏名 ()

6

慣用句 かんようく

① ちかさんのクラスでは、先日行われた『六年生を送る会』のことを題材にして、グループごとに慣用句を使って話しています。

グループの中で出された意見の中で慣用句の使い方としてまちがった使い方をしている人を、次から一つ選んで、その名前を書きましょう。



(はるこ) 私たちの「感謝かんしゃのメッセージ」、きんちょうしたけど、心をこめて言えたから、むねをなでおろしたよ。



(なつき) たて割り班の班長さんからの「送る言葉」に感動して、なきそうになったから、ぼくはなみだをのんで、見つめていたよ。



(あきお) 六年生とけんかもしたけど、そんなことはもうすっかり水に流して、いい思い出になっているよ。



(ふゆみ) 六年生がお別れの言葉を言う時は、体育館が水を打ったようだったね。あの時は、みんなの心が一つになっていたと思うわ。

なつき

② ちかさんは、目を使った慣用句で文を作っています。使い方のあっている慣用句はどれですか。番号を書きましょう。

1. 妹はケーキやクッキーなど、あまいものに目が**ない**からすぐに食べるよ。

2. 近所の肉屋さんは人気で、週末になると目が**ない**ほどのいそがしさだ。

3. 兄は、どんな**難**むずかしいしつ問にも、目が**ない**ようなすばやい**速**はやさで答える。

4. この絵が本物かどうか、絵に目が**ない**祖父そふにかん定ていをたのむことにした。

1